

# 「松戸東部運送株」 の巻

こんにちはは健保組合です！

## 指導宣伝部会委員、取材にご同行

関東地方もまもなく梅雨入りかという六月八日、事業所訪問の第一四弾としてお邪魔したのは、松戸市に所在する松戸東部運送株式会社でした。

本誌でもお知らせしましたように、本年度から健康管理委員制度を一部改正し、その専門部会として指導宣伝部会が同時に発足したわけですが、指導宣伝部会に所属する委員が取材に同行することとなり、今回がその記念すべき最初の取材でもあったわけです。同行していただいたのは、富士運輸株式会社の齊藤部長でした。業務ご多忙にもかかわらず快く引き受けてくださり、取材の随所に的を射た話題を提供してくださり、私たち事務局だけで実施してきた本企画に

心強い味方ができたと感謝申し上げます。次第でした。

## ご病気の体験から、健診率ほぼ一〇〇%へと

齊藤部長とは現地で待ち合わせる約束をし、私たちは目的地に車を走らせました。訪問する松戸東部運送は松戸市といっても市川市と隣接した紙敷という地域にあり、後で聞きましたのですが、このあたりは湯浅姓（社長のお名前）が八割九割も占めているとのことでした（関西方面からこちらに集団で定住された、との説明を受けました）。

事業所に到着して二階の事務所に足を運び、「こんにちはは健保組合です！」と挨拶申し上げると、組合の議員をされておられる湯浅社長が、笑顔で私たちを出迎えてくださいました。

すでに齊藤部長が到着されており、対談はすぐに始まりました。そもそも今回、同社を取材の対象にさせていただいたのは、湯浅社長が最近まで約二ヶ月間、病気で入院されており、その入院までのいきさつに関心を示した事務局が飛びついたのです（ニュースソースを嗅ぎ付ける鼻が、私たちにも備わってきたのでしょうか）。

最初の話題は、そのことについてお聞きすることとなりました。氏は、健康保険組合が保健施設事業で実施している検診事業の人間ドックを受診されました。組合はそのフォローとして、保健婦による文書指導を行っているのですが、たまたま同氏にその指導文書が届いたそうです。指導内容は検診で、有所見項目の再検査についてでした。氏は、『忙しい』『病院嫌い』『症状がない』等を理由にその指導を放置しておいたそうです。しばらくして体に変調をきたし、我慢しきれなくなり病院に駆け込んだところ、検査の結果、手術を進行されたそうです。こうして入院生活を強いられたそうですが、現在は経過も順調で、日常生活には全く支障のないまでに回復されておられました。



湯浅社長(右)と齊藤部長(富士運輸株)

た。湯浅社長は、「あの時、再検査に足を運んでいれば、こんなに痛い思いをしなくてすんだかもしれない」としみじみとおっしゃられました。私たちが携わっている健康管理に関して、身をもって体験された方の生の声を聞くことができたことは他の何ものにも代えがたいものです。健康管理というのは、他人から強制されてできることではありません。いかにその気にさせるかが私たちの大きなテーマです。苦い経験をされた方の体験談を啓蒙材料にさせていただくのは恐縮ですが、実体験ほど説得力のあるものはないという思いから、あえて取り上げさせていただきました。

ました。本文を読んで思い当たる方が、早速医療機関に足を運んでくださることを強く期待しております。

健康管理に関して、松戸東部運送の社員の方々のほぼ一〇〇%が健康診断を受けておられるとのこと。社長は「ある年齢を過ぎたら、人間ドックの受診を今後も促したい」とおっしゃられ、「ぜひ実行していただきたい」と私たちからもお願いしたところです。

## 従業員、家族にも目を向けた経営

次に話題は、同社の歴史について

移行しました。

松戸東部運送は、昭和三十九年の設立、旧八柱村を中心としたこの地域が松戸市の東に位置しており、その社名がついたとのことでした。創立時は、叔父様にあたられる方が初代で、現社長が二代目だそうです。約三〇年の会社の歩みの中でさまざまな経験をされてこられたようですが、今の不景気には、さすがの湯浅社長も先行きを危惧されておられるようでした。しかしながら、トップとして社を牽引しているからには、個人の利益のみならず、従業員の家族にも目を向けて経営を展開していかなければという姿勢がひとと伝わ

ってきました。

まだまだお話を聞きしかなかったのですが、時間となり、最後に私たちから、壁に飾られた感謝状・表彰状の多さにびっくりしお尋ねすると、氏はこうした多忙なおからだにもかかわらず、地域の各種団体の役員を多数兼務されておられるそうです。社会に大きく貢献されております。

「そんな付き合いの多さから不規則な生活が続き、病気に結びついたのかも……」と省みられました。これからは食生活の改善に努め、節制するよう心がける」と締めくくってくださいました。

こうして、終始笑顔で私たちに接してくださった湯浅社長にお礼を申し上げて、取材を終えました。湯浅社長のご健康と松戸東部運送株式会社の発展を心から祈念いたします。ご協力ありがとうございました。

『梅雨』という言葉から皆さんはおそらく憂鬱なイメージが先行することと思われませんが、今年は何かポジティブに考えませんか？ そうです！『梅雨の時期には紫陽花が見ごろ』。これでいきましょ！きっと素敵な夏がやって来ますよ。